

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 6 月 26 日(2024.6.26)

【公開番号】特開 2024-9067(P2024-9067A)
【公開日】令和 6 年 1 月 19 日(2024.1.19)
【年通号数】公開公報(特許)2024-011
【出願番号】特願 2023-192967(P2023-192967)
【国際特許分類】

G 0 3 G 2 1 / 1 6 (2 0 0 6 . 0 1)

10

G 0 3 G 2 1 / 1 8 (2 0 0 6 . 0 1)

G 0 3 G 1 5 / 0 8 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

G 0 3 G 2 1 / 1 6 1 7 6

G 0 3 G 2 1 / 1 8 1 1 4

G 0 3 G 1 5 / 0 8 3 2 2 C

G 0 3 G 1 5 / 0 8 3 4 3

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 6 月 17 日(2024.6.17)

20

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トナーが収容されたトナー容器が着脱可能な画像形成装置であって、
トナー収容部を有し、前記トナー容器が装着可能であって、前記トナー収容部に連通する
第 1 開口及び第 2 開口が設けられた現像容器と、
前記現像容器に対して移動可能であり、下方を向いたシャッタ開口が設けられたシャッタ
と、
を有し、
前記シャッタは、前記シャッタ開口が前記第 1 開口と連通し且つ前記第 2 開口と連通しな
い第 1 位置と、前記シャッタ開口が前記第 2 開口と連通し且つ前記第 1 開口と連通しない
第 2 位置と、前記シャッタ開口が前記第 1 開口及び第 2 開口いずれとも連通しない第 3 位
置と、の間を移動可能に構成されている、
ことを特徴とする画像形成装置。

30

【請求項 2】

前記シャッタは、回転軸線を中心に前記第 1 位置と前記第 2 位置の間を回転可能に構成さ
れ、前記第 3 位置は、前記第 1 位置と前記第 2 位置の間にある、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

40

【請求項 3】

前記シャッタは、
前記トナー容器が前記現像容器に装着され、前記トナー容器から前記現像容器にトナーが
補給される時は、前記第 1 位置にあり、
前記トナー容器が前記現像容器に装着されていない時は、前記第 3 位置にある、
ことを特徴とする請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記現像容器と前記シャッタとの間をシールするシール部材であって、前記第 1 開口及び

50

前記第 2 開口が設けられた前記現像容器の面上に設けられたシール部材を有し、
前記シール部材は、前記第 1 開口及び前記第 2 開口のそれぞれと連通する第 1 シール開口
及び第 2 シール開口が設けられ、
前記シャッタは、前記シール部材と摺動しながら回転する、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【 手 続 補 正 2 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 7

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

10

【 0 0 0 7 】

本発明の第 1 の側面は、トナーが収容されたトナー容器が着脱可能な画像形成装置であ
って、トナー収容部を有し、前記トナー容器が装着可能であって、前記トナー収容部に連
通する第 1 開口及び第 2 開口が設けられた現像容器と、前記現像容器に対して移動可能で
あり、下方を向いたシャッタ開口が設けられたシャッタと、を有し、前記シャッタは、前
記シャッタ開口が前記第 1 開口と連通し且つ前記第 2 開口と連通しない第 1 位置と、前記
シャッタ開口が前記第 2 開口と連通し且つ前記第 1 開口と連通しない第 2 位置と、前記シ
ャッタ開口が前記第 1 開口及び第 2 開口いずれとも連通しない第 3 位置と、の間を移動可
能に構成されていることを特徴とする。

20

30

40

50